

第 4 期

松山市 中心市街地活性化基本計画

概 要 版



ヒト・モノ・コトがつながる、便利で快適な行きたい・住みたいまち

[令和 8 年 4 月 ~ 令和 13 年 3 月]



松山市

令和 8 年 4 月 (令和 8 年 3 月 17 日認定)

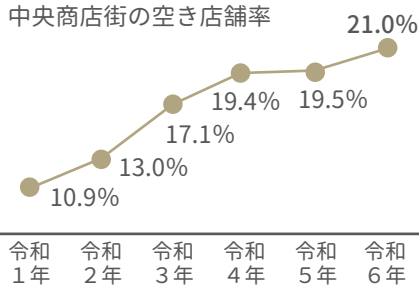


中心市街地
区域
(約 305ha)

01 中心市街地活性化の課題

【課題1】

店舗づくり等による にぎわいの再生



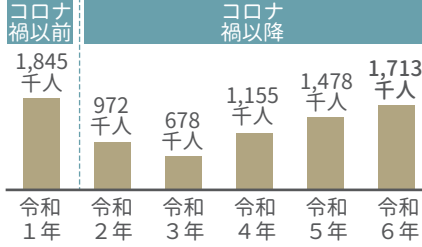
出典：松山市店舗状況変化調査（中央商店街）

- 新型コロナウイルスの感染が拡大した令和2年以降、中央商店街の空き店舗率は増加傾向にあり、魅力やにぎわいが失われつつある。
- 新たな集客拠点の整備や空き店舗対策、担い手の育成、新規創業支援等を行い、行きたくなる店舗づくりやアクセス性の向上を図り、中心市街地のにぎわいを再生することが必要。

【課題2】

観光コンテンツの充実等で 稼ぐ地域への発展

観光施設の年間利用者数



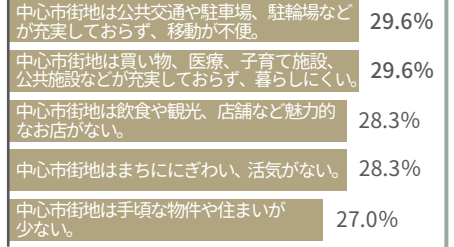
出典：「松山市観光客推定表」より松山市作成

- 中心市街地内の観光施設利用者数はコロナ禍前の水準に達していない。コロナ禍を経て、国内外の観光客層も変化。
- ニーズに合わせた観光コンテンツの充実や諸外国の直行便・クルーズ船の誘致・誘客や、観光DXの推進など、稼ぐ地域への発展が求められている。

【課題3】

歩いて暮らせる 居住環境の形成

中心市街地外に住みたい理由（上位）



出典：第4期松山市中心市街地活性化基本計画アンケート

- 高齢化や人口減少に対応するため、コンパクトシティの推進等が必要で、まちなかの滞在・快適な移動に対する市民ニーズも強い。
- 都市機能の維持・発展、安全で快適に移動しやすい環境を整備し、歩いて暮らせる居住環境を形成することが必要。

02 中心市街地活性化の目標と基本方針

「第7次松山市総合計画」で掲げる「人、まち、仕事がつながる交流拠点『SETOUCHI まつやま』の実現や、各種関連計画で掲げるまちづくりの理念等を踏まえた上で、中心市街地活性化の課題解決を図るため、中心市街地活性化の目標（全体テーマ）及び基本方針を次のとおり設定する。

【中心市街地活性化の目標（全体テーマ）】

ヒト・モノ・コトがつながる、
便利で快適な行きたい・住みたいまち



【中心市街地活性化の基本方針】

基本方針 1

にぎわい創出 経済活力の向上

行きたくなる店舗づくりと観光コンテンツの充実等で、モノ・コトを集め、便利でにぎわうまちにする

基本方針 2

まちなか居住の推進

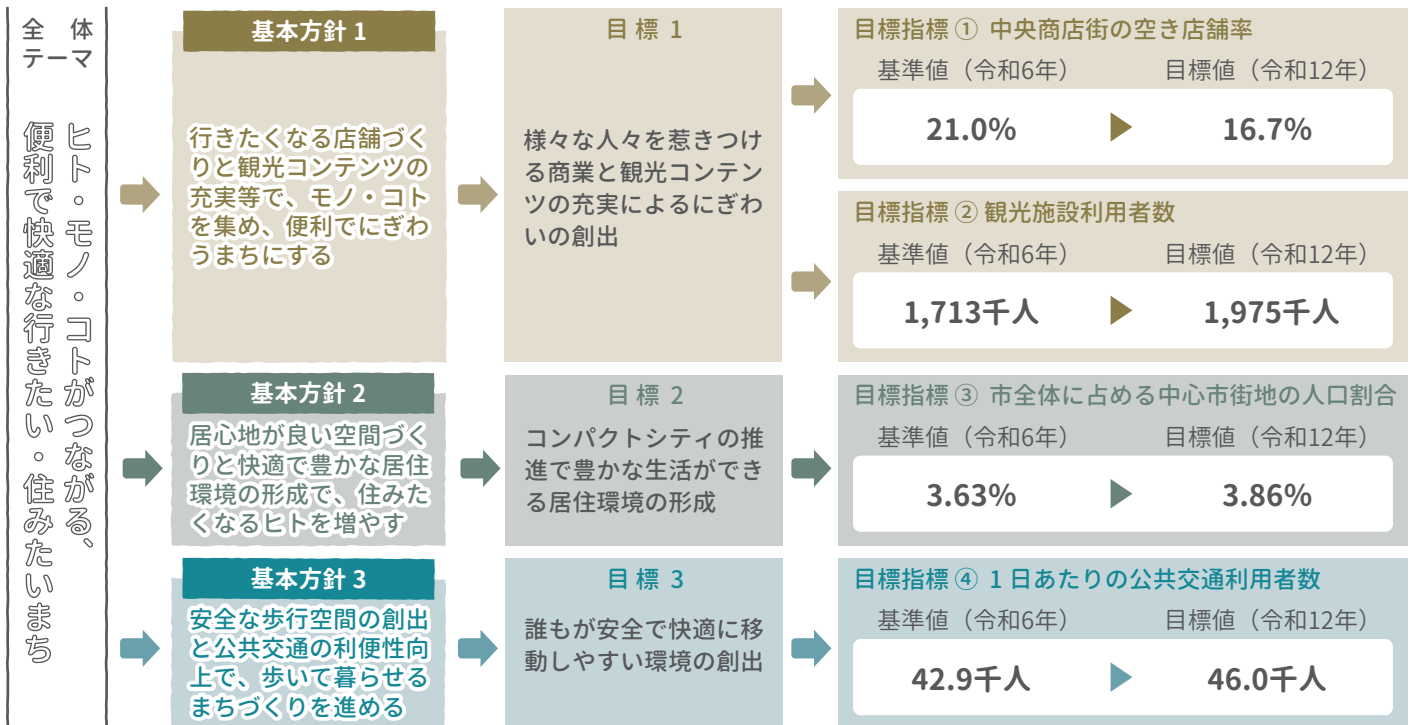
居心地が良い空間づくりと快適で豊かな居住環境の形成で、住みたくなるヒトを増やす

基本方針 3

公共交通の利便の増進

安全な歩行空間の創出と公共交通の利便性向上で、歩いて暮らせるまちづくりを進める

03 目標指標の設定



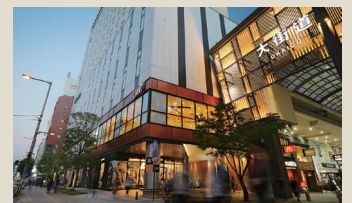
04 目標達成に向けた事業

【基本方針 1】 にぎわい創出 / 経済活力の向上

行きたくなる店舗づくりと観光コンテンツの充実等で、モノ・コトを集め、便利でにぎわうまちにする

都市機能の集積を進め、買い物・遊びの場などの充実を図り、今より更に行きたくなるまちを目指す。また、観光 DX の推進等による効果的な情報発信やインバウンド獲得による誘客を進め、観光等で稼ぐまちを目指す。

- 主な事業
- 中心市街地回遊性向上事業
 - 商店街空き店舗出店促進事業
 - 瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 など



出典：松山市公式観光 WEB サイト

【基本方針 2】 まちなか居住の推進

居心地が良い空間づくりと快適で豊かな居住環境の形成で、住みたくなるヒトを増やす

居住環境、オープンスペース、広場等の整備により、居心地が良く、様々な活動や好きなことに打ち込める環境が整った、住みたくなるコンパクトシティの実現と、安全で快適に移動できる環境創出とで、歩いて暮らせるまちを目指す。

- 主な事業
- 松山駅周辺土地区画整理事業・松山駅周辺まちづくり事業
 - 一番町一丁目・歩行町一丁目地区第一種市街地再開発事業



出典：松山市ホームページ

【基本方針 3】 公共交通の利便の増進

安全な歩行空間の創出と公共交通の利便性向上で、歩いて暮らせるまちづくりを進める

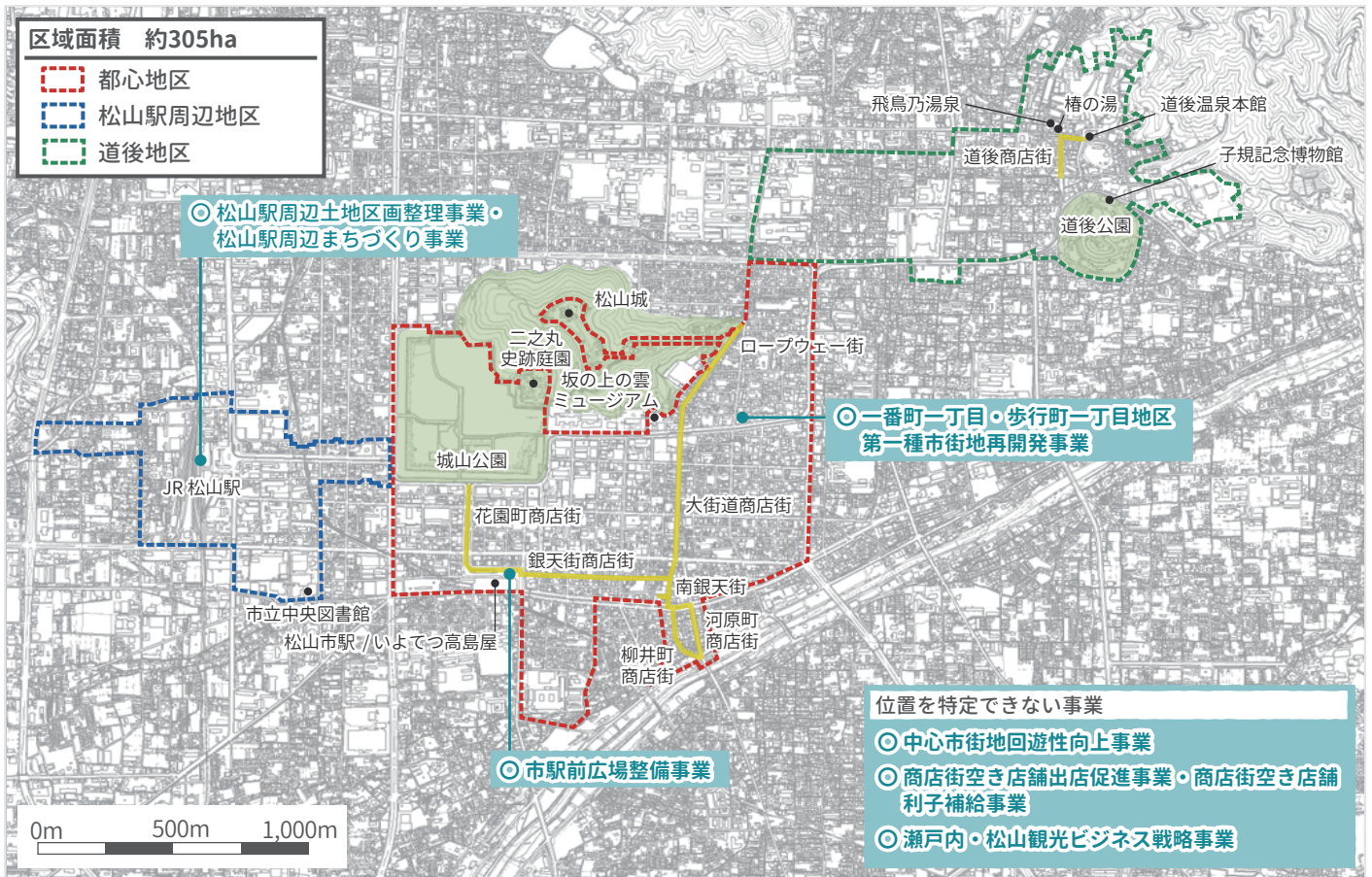
交通拠点整備により交通結節機能を強化し、公共交通の利便性や中心市街地の各地区間のアクセス向上を図るほか、無電中化や歩道整備を進めることで、安全で快適に移動しやすい環境を目指す。

- 主な事業
- 松山駅周辺土地区画整理事業・松山駅周辺まちづくり事業
 - 市駅前広場整備事業



出典：松山市ホームページ

05 計画区域及び主な実施事業



◎ 中心市街地回遊性向上事業

愚陀佛庵の整備と合わせて周辺の街路整備を行い、来訪者にとって快適な歩行者空間を創出するほか、市民を対象にしたワークショップでストリートファニチャーのデザインを検討し、中央商店街に設置することで、商店街内の回遊性や滞留性の向上を図る。



出典：松山市ホームページ

◎ 商店街空き店舗出店促進事業・商店街空き店舗利子補給事業

【商店街空き店舗出店促進事業】

商店街の空き店舗を賃借し、小売業や飲食業、サービス業等の営業を新たに開始する事業者に対して奨励金を給付する。

【商店街空き店舗利子補給事業】

中央商店街の空き店舗に出店し、出店にかかる資金を金融機関から融資を受ける際に利子を補給し、金利負担の軽減を図る。



出典：松山市公式観光WEBサイト

◎ 瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業

広島地域の自治体や交通事業者との連携で協議会を運営するほか、観光商品造成やPR活動などで幅広い地域からの誘客に取り組み、瀬戸内・松山地域へのツーリズムの定着を目指す。



出典：松山市ホームページ

◎ 一番町一丁目・歩行町一丁目地区第一種市街地再開発事業

ホテル・住宅・駐車場・広場等を備える新たなにぎわいスポットを整備し、観光・生活都市としてのブランド強化を目指すとともに防災性の高い市街地形成を促進する。



出典：一番町一丁目・歩行町一丁目地区市街地再開発準備組合

◎ 松山駅周辺土地区画整理事業・松山駅周辺まちづくり事業

交通結節機能の強化や東西交通の利便性の向上並びに魅力ある都心居住環境の創出を図る。



出典：松山市ホームページ

◎ 市駅前広場整備事業

大街道・銀天街と花園町通りをつなぐ市駅前広場で、にぎわいを創出するため、一体的な空間や回遊動線の整備を行う。



出典：松山市ホームページ